

## 第十二期の矢祭子ども司書を受講する君たちへ

今年は、新型コロナウイルス感染を防ぐために、学校が長期間休校になり、授業もずいぶん遅れてしまいましたね。でも、六月になってからは、通常通りの授業が始まって、よかったですね。

長い間、学校に行けなかった分だけ、授業が再開されると、学校って楽しいところだな、友達に会えるって楽しいことだなと、心の底から感じたのではないのでしょうか。

今は、授業の遅れを取り戻すことで精いっぱい毎日かもしれませんが、そんな中であっても、学校の授業だけでなく、図書館の成り立ちや貸出しの仕事、傷んだ本を修復する作業などをいろいろと学ぶこの講座を受講しようと決心した君たち七名の心意気を、私はすばらしいと感心しました。

この講座は、学校の授業のように義務づけられているものではないですね。受講しないで、その時間は遊んでいてもいいのです。でも君たちは、自分からすすんでこの講座を受ける決心をしたのです。そこがすばらしいことです。カリキュラムの表を見ると、図書館の司書さんの仕事のことはもとより、おはなしかいのやり方とか、ビブリオバトルのやり方、さらに手づくり絵本の作り方や俳句の詠み方など、本当にいろいろなことを学んでいくことになっていますね。

もし君たちが、この講座を受けなかったら、一生涯学ぶことも知ることもなく、過ごしてしまうことになるかもしれないものもあるでしょう。そういう学びの機会を、君たちは自分でつかんだのです。この講座を修了ころには、君たちの心は、自分では気づかなくても、必ずや一般の子たちより成長していると思います。頑張ってください。

令和二年六月二十日

ノンフィクション作家 柳田 邦男

やなぎだ

くにお